

第1回 高齢・介護部会における主な意見要旨

カテゴリ	意見の要旨
計画全体への意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焦点は 2040 年ということによいとは思いますが、2040 年以降も介護のピークは続くと考えられるため、2040 年以降のことも押さえておく必要がある。 ・ 世田谷区は人口が多く、28 地区の人口も小さな市程度になるため、それぞれの地区の状況に応じた計画づくりが必要なのではないかと考える。 ・ 65 歳の半数は就労しており、介護という観点ではこれからは 75 歳以上だったり 85 歳以上あるいは 90 歳以上がメインターゲットになるだろう。 ・ 区では特養より有料老人ホームの入居者数のほうが多い。国でも有料老人ホームの登録制なども出てきているが、有料老人ホーム入所者のことも視野に入れて計画に反映させていく必要があるのではないかと考える。
地域包括ケアシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムは大分完成したので、地域共生社会を作っていく方向にシフトしたほうがよいのではないかと考える。 ・ 地域包括ケアシステムはもう破綻しているという印象。特に世田谷区の東部はそう感じる。 ・ 区の地域包括ケアシステムはよくできていると思うが、2040 年を考えるとこのままではだめだろう。医療としては元気な高齢者を増やすこと、認知症のケア、フレイルにならないための予防対策が必要。 ・ 一つひとつの相談が複雑化してきており、長期間関わらなければ解決できないケースが増えてきている。 ・ 支援が必要な全ての方を対象としている世田谷は素晴らしいが、あんしんすこやかセンターの持っている仕事があまりにも多いと肌で感じている。 ・ 高齢者の見守りは事業者であつたり比較的高齢の方が行っていることが多いため、子育て世代の方なども含めた地域での見守りの仕組みづくりも必要なのではないかと考える。 ・ 身寄りのない高齢者の支援、賃貸入居者への居住支援が必要である。
健康づくり・介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ フレイル予防、認知症対策が重要である。 ・ 運動疾患やロコモフレイル予防という観点から、新しいシステムを作って提案していきたい。 ・ 健康寿命延伸のためには少し負荷をかけることが必要である。区においてもそういったコンセンサスを作っていく必要がある。 ・ 口腔や歯のケアは施設には職員や衛生士がいるため充実しているが、居宅は全く充実していない。 ・ これまでは歯を残すことが主流であったが、現在転換期にあり、オーラルフレイル予防が非常に重要になってきている。 ・ 早期発見と適切な初期予防のためにも検診の大切さは伝えていく必要がある。

カテゴリ	意見の要旨
外出・社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身機能の改善には体の活動だけでなく、心の活動が必要。社会参加も役割を持って参加することが大切である。 ・豊かな人生を送るには、こころと体の健康が重要であり、そのためには社会とのつながりと体力維持・老化防止が必要であると考える。 ・高齢者が健康に暮らすためには外出し、他の人と会話をすることが重要だと感じている。 ・元気な高齢者の社会参加や就労だけでなく、要支援や認知症初期の方の社会参加の場の創出が必要なのではないか。28 圏域の地域差もあるだろう。
認知症	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のケアは施設でと言われるが、在宅ケアがこれからの課題である。認知症の在宅ケアについては、現在も充実しているとは思いますが、さらに新しい施策を提案していきたい。 ・徘徊で戻れなくなり、通報されるケースが増えており、そのようなときにできることは地域の皆さんで見守ることができることが重要だと考える。 ・認知症施策は破綻していると思う。区の施策は生ぬるい。
医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で看取れていないということは、医療がうまく回っていないということ。在宅医療を含めてしっかりケアしていく必要がある。 ・介護のきっかけは加齢もあるが、病気になって入院してというのが介護になるケースがあったり、要介護の方が病気になって入院して介護度が上がるということがあるため、医療と介護の連携をしっかりと進めていく必要がある。 ・薬局間連携（休日・夜間等）や地域内での医薬品安定供給についての連携に取り組んでいる。 ・施設介護の中で生産性を向上していただくだけであればいくらでもできるが、利用者本位の中でどう生産性を向上していくことができるのかが重要であると考える。
介護サービス事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者に対する経営支援が必要である。 ・介護サービス事業所の経営の厳しさを把握するために、実態の確認をすべき。 ・区には事業者の先に区民がいるということを知っていただき、その区民を守るために我々事業者を支援してほしいと考えている。 ・事業者の声を聴くだけでなく、具体的にどうすれば機能するようになるかを考えてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や人間関係の希薄さなどの壁がある中で、人と人の関わりをどうやってつなげていくかが重要だと考える。 ・入退院時の身元保証や生活支援、死後事務のことなど、身寄りのない方の支援については必要としている方も多いため、民間サービスも活用した支援が必要になるだろう。 ・ICT を活用し定期的な ACP の見直しや、何かあったときに連絡先のアップデートを行うといったことも計画に盛り込んでもよいのではないかと。 ・区の施策について、情報が区民に伝わっていない。